

客層が縛られないカフェテリア

C1240109 安達泰我

問題

学外にうらやましいと思われるようなカフェテリアを提案する。

本文

①私は2週間平日毎日カフェテリアに行きました。その時分かったことがいくつかあります。1つ目は昼の時間帯は学生の利用者が多かったということです。昼のカフェテリアは学生や教員の利用者が多く地域の方を見かける機会が少なかったです。2つ目は午後3時頃に地域の利用者が多くなるということです。割合的には学生が多いものの地域の方がいちばん多かったのがこの時間帯だと思いました。

②私は調べた結果から地域の方が何を求めているかについて考えました。そして、あることに気が付きました。それは、地域の方がカフェテリアを使う時間帯は学生が少ない時間帯だということです。そこで私は学生が沢山いる中でカフェテリアを使うのは難しいと地域の方は考えていると思いました。そこで私は地域の方々の顕在的ニーズは学生が少なく落ち着いた環境でゆっくりとすることが出来る環境だと思いました。

③私が考えた顕在的ニーズによりいくつかのことを提案します。1つ目はカフェテリアでモーニングなどを食べれるようにすることです。今のカフェテリアでは朝食の販売はしていませんがモーニングメニューとしてトーストなどいくつかのメニューを朝にも食べれるようにすることです。2つ目はドリンクのメニューいくつかを増やすことです。今のカフェテリアではバナナミルクしかドリンクのメニューがありません。なので先程のモーニングのメニューに合うようにコーヒーなどのドリンクのメニューも増やすと良くなると思いました。

④この提案から期待される効果はいくつかあります。1つ目は学生が少ない時間帯が増えるということです。先程私は地域の方々の顕在的ニーズとして学生が少ない時間帯にゆっくりとカフェテリアを使いたいと答えました。しかし、現在の状況は学生の利用が少ない午後3時頃にしか地域の方々が集まっていません。ここで学生の利用が少ないであろう朝の時間も利用可能にしてモーニングメニューとしてトーストなどを販売することによって地域の方々が集まれる時間が増えるだけでなく仕事前などに朝ごはんを食べたい人にも使

っていただけると考えました。2つ目はドリンクのメニューを増やすことです。これはモーニングメニューに合わせてコーヒーなどのドリンクメニューを朝限定でもいいので増やすことによって朝に食事をしたくない人にも飲み物1杯飲んでから仕事に迎えるようにしたり、飲み物を頼んでそれを飲みながら地域の方々と集まりながらおしゃべりをしやすいようになると思います。以上のことから私はモーニングメニューとしてトーストを朝にも販売することとコーヒーなどのドリンクのメニューを増やすことを提案したいと思います。